

管機連 Daily News

2021年1月5日(火)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2020年の交通事故死、過去最少の2839人 警察庁

・2020年の全国の交通事故による死者は2839人で、前年より12%減ったことが4日、警察庁のまとめで分かった。統計が残る1948年以降最少で、2000人台は初めて。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛が影響したとみられる。交通事故件数は30万9000件(速報値)と前年より2割近く減った。

◆新型コロナ関連解雇7.9万人超 厚労省2020年累計

・新型コロナウイルスの感染拡大に関連した解雇や雇い止めの人数(見込みを含む)が2020年末時点で7万9千人を超えた。厚生労働省によると同年12月28日時点の累計で7万9608人に達し、8万人に迫っている。20年を通じた動きをみると、11月初旬に7万人を超えてから約2カ月で1万人近く増え、6月に累計で2万人を超えて以降、ほぼ1カ月で1万人増加した。

■年越しのお札118兆円 11年連続最高更新

・日銀は市中に出回って家計や企業、金融機関の金庫などで年を越すお札(日銀券)が118兆3282億円になると発表した。11年連続で過去最高を更新した。低金利が長期化し、現金を銀行に預けたり、国債などに投資したりするメリットが薄れて「タンス預金」が増えていることが背景にある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆11月住宅着工戸数、持家16カ月ぶりに増加も低水準

・国土交通省は11月の新設住宅着工戸数を発表。持家が前年同月比1.5%増の2万4010戸となり16カ月ぶりの増加。全体では、貸家と分譲住宅が減少したため、同3.7%減少し7万798戸で17カ月連続の減少。季節調整済み年率換算値は前月比2.3%増の82万戸で4カ月ぶりに増加。11月としては過去10年で最も低い水準となった。

◆東電PG、中部電・北陸電系から電力融通 低気温で需要増

・東京電力ホールディングスの送配電事業会社である東京電力パワーグリッド(PG)は、中部電力パワーグリッドや北陸電力送配電などから電力の供給を受けたと発表。低気温による電力需要の増加や、発電事業者の供給力の低下が理由。電力の安定供給には影響がないという。東電PGが他社から電力の供給を受けるのは2019年9月以来となる。

◆加湿器・タブレット・調理家電…3家電に巣ごもり特需

・新型コロナウイルスの感染が再び拡大する中、家電の消費トレンドに変化が表れている。足元で伸びるのは加湿器、タブレット端末、調理家電の3つの製品。感染予防の観点などからアイリスオーヤマの加湿器は11月の販売金額が前年の3倍で、増産に乗り出した。コロナ禍で消費が冷え込む中、「巣ごもり」需要が家電業界を下支えしている。

《 注目商品 》

■TOTO、洗面化粧台を手軽にカスタマイズできる「drena(ドレーナ)」

・おしゃれな洗面化粧台を手軽にカスタマイズできる『drena(ドレーナ)』に、造作洗面で人気のデザインと機能を進化させ、2月1日(月)に発売。造作洗面で人気のアイテムを進化させた「陶器製広ふかボウル」と「ハイネックスウィング水栓(ホース付き)」が新しく登場。



■パナソニック、最軽量の不燃軽量天井材「エアライト」

・不燃軽量天井材「エアライト」は新たに独自開発した厚さわずか4mmの発泡ウレタン樹脂を用い、業界最軽量となる1m²あたり560gの本体質量を実現。一般鋼製下地の質量と合わせて1m²あたり2kg以下の天井質量を実現、専用下地が不要で「特定天井」に該当しない天井を設計できる。



■コロナ、1台4役で最大300平米に対応する多機能加湿装置

・「ナノフィール」は、ナノミストを発生させ加湿、消臭、除菌、空気洗浄の効果を生み出す1台4役の多機能加湿装置。排水とともにニオイのもと、花粉なども排出。給排水は自動。大能力タイプは、適応床面積最大300平米の広い空間に対応。寒冷地仕様と標準の2タイプをそろえる。

